

クロアチア情勢

主な出来事

2017年10月

内政

- 4日、トマシェビッチ・ポジェガ＝スラボニア県知事（クロアチア民主同盟（HDZ）党员）の妻に対する家庭内暴力を契機として、HDZはポジェガ＝スラボニア県のHDZ支部を解散。
- 8日、プレンコビッチ首相とヤンドロコビッチ議会議長は、ザグレブにおいて開催された独立記念日（10月8日）26周年を記念する独立記念式典に出席。
- 11日、議会は、アグロコル社の債務問題調査委員会（アグロコル調査委）の設置を賛成多数で可決。
- 13日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、3人の憲法裁判所判事（1人は再任、2人は新任）を任命。
- 16日、モドゥルサン＝クロアチア地雷行動センター（HCR）長は、現期限の2019年までに「祖国防衛戦争」の際の地雷の完全撤去はできないとして、期限を延長するための手法を開始する旨発言。
- 25－29日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府をドブロブニク＝ネレトバ県のドブロブニクに一時的に移設。

外交

- 2日、外務＝欧州問題省は、セルビアに対し、「祖国防衛戦争」においてセルビア側が英雄としているテピッチ少佐の記念碑の除幕式がベオグラードで行われたことに関して強い言葉で非難する旨の口上書を送付。
- 2日、外務＝欧州問題省は、スペイン＝カタルーニャ州の独立をめぐる動きに関し、本件は国内問題であり、対話による解決を望む旨声明を発出。
- 2－4日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブカレストを訪問。2日、ヨハニス＝ルーマニア大統領と会談。3日、ルーマニア＝クロアチア経済フォーラムが開催され、同大統領が出席。
- 3日、外務＝欧州問題省は、テピッチ少佐の記念碑を巡るセルビアからの口上書の受取りを拒否。

- 4日、クルスティッチ副首相兼国防相は、クロアチア訪問中のフォン・デア・ライエン独国防相と会談し、双方の軍事産業間における連携の強化を目的としたビジネス協力に合意。
- 4日、ダリッチ副首相兼経済・中小企業相は、モスクワで開催されたクロアチア・ロシア経済科学協力委員会の会合に出席。
- 4日、ボジノビッチ内務相は、クロアチア訪問中のアブラモポロス欧州委員と会談し、クロアチアのシェンゲン圏加盟に関する技術的要件が2018年に満たされる旨発言。
- 7日、プレンコビッチ首相は、バチカンを訪問し、フランシスコ法王と会談。また、ローマにてジェンティローニ伊首相と会談。
- 10日、ヤンドロコビッチ議会議長は、ブダペストにおいて、クヴェール・ハンガリー国会議長と会談。
- 13－15日、マリッチ財相は、ワシントンを訪れ、世銀及びIMFの年次総会に出席。
- 17日、ダリッチ副首相兼経済・中小企業相は、クロアチアを訪問したミラード米國務省欧州・ユーラシア問題局筆頭次官補と会談。
- 16－17日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ルクセンブルクにおいて、16日にEU外相会合、17日にEU総務理事会に出席。
- 17－20日、ヤンドロコビッチ議会議長は、カナダを公式訪問。オタワにおいて、18日にベインズ革新・科学・経済開発相、フュレー議会議長、シャガー小規模ビジネス・下院政府総務兼観光相、カナダ・クロアチア友好議連団等、19日にレーガン下院議長、ペイエット・カナダ総督等と会談。
- 18日、プレンコビッチ首相は、16日にツェラル・スロベニア首相から送付された国境画定問題に関する書簡に対して、対話のためにツェラル首相がザグレブを訪問するよう書簡を送付。
- 18－20日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ロシアを訪問。18日、ソチにおいて、プーチン露大統領と会談。両大統領は、両国当局間の協力に関する各種合意、覚書等の署名式典に出席。19日、モスクワにおいて、ロシア・クロアチア経済フォーラムに出席。
- 19日、プレンコビッチ首相は、ユンカー欧州委員長、ズビズディッチBH閣僚評議会議長等にペリェシャツ橋の建設に関する書簡を送付。
- 19日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアを訪問中のアルファーノ伊外相と会談。
- 20日、プレンコビッチ首相は、ブリュッセルにおいてEU理事会に出席。
- 24日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ロシアのプロパガンダを非難する旨の書簡を他の東欧のEU加盟国と共同でモゲリーニEU上級代表に対して送付。
- 24日、ディビャク科学・教育相は、ジュネーブにおいて、ジアノッティ欧州合同原子核研究機構（CERN）事務総長と会談。
- 28日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ドブロブニク・ネレトバ県において、イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーと会談。

● 29－30日、グラバル＝キタロビッチ大統領とプレンコビッチ首相は、クロアチアを訪問中のパロリン・バチカン国務長官と会談。

経済

● 2日、クロアチア観光省は、2017年上半期の観光収入を公表。外国人観光客からの観光収入は2.85億ユーロとなり、前年同期比11.6%増。

● 5日、クロアチア政府は、ボスニア・ヘルツェゴビナのボサンスキ・ブロッド市にある石油精製施設にクロアチアのガス輸送システムを接続する協定について承認。本措置により、隣接するスラボンスキ・ブロッド市（クロアチア側）の大気汚染を緩和することを期待。

● 9日、LNGクロアチア社は、クルク島LNGターミナル建設事業に係る入札の結果を発表。27社が参加し、うち13社は浮体式貯蔵再ガス化施設の調達、うち14社はその他港湾インフラの設計・建設等に関する調達に対するもの。同社は、事前資格審査の後、拘束力のある入札手続きを経て、2018年初頭までに契約を結びたい意向。

● 16日、クロアチア検察当局は、アグロコル社に対する調査に関連して、27か所に対する家宅捜査を行い、同社の経営幹部、同社を担当する会計事務所関係者など12名を逮捕。

● 19日、欧州委員会は、ザプレシチ（Zapresic）－ザボク（Zabok）間鉄道近代化事業に対して、2014－2020年予算の結束基金（cohesion fund）から8080万ユーロの支援を行うことを決定。

● 19日、世銀は、クロアチアの経済見通しを公表。2017年の実質GDP成長率は+2.9%と6月時点の見直しを据置き。所得税減税による個人消費の増加、投資の伸び等を背景に、堅調な成長が続くとの見通し。

● 20日、クロアチア統計庁は、9月の失業率を公表。失業率は10.8%と、前月の10.9%から低下。

● 21日、ザグレブ市検察局は、トドリッチ元アグロコル社CEOに対する逮捕状を発出。同被告は、クロアチア検察当局の管轄外であるイギリスに滞在。

● 23日、ザグレブ市検察局は、トドリッチ元アグロコル社CEOに対する欧州逮捕状を発出。

● 24日、欧州連合統計局は、2017年6月末時点の政府債務残高を公表。クロアチアの政府債務残高対GDP比は81.9%となり、同年3月末時点から4.5%ポイント低下。

● 25日、クロアチア政府、INEA（Innovation and Networks Executive Agency：欧州委員会傘下でコネクティング・ヨーロッパ・ファシリティ（CEF）の実施機関）、スラボンスキ・ブロッド港湾当局は、サバ川の港湾施設の改修事業、水上交通の活性化に関するフィージビリティ・スタディに関して、1.1億クーナ相当の共同出資を行う協定に調印。

● 27日、IMFは対クロアチア4条協議（国別サーベイランス）による審査ミッションを終了し、スタッフレポートを公表。2017年の実質GDP成長率は+3.1%と、前回見通し（2017年4月：+2.9%）から上方修正。主に民間消費と観光業の堅調な伸びが寄与。

● 31日、世銀は、各国のビジネス環境を評価する「Doing Business 2018」レポートを公表。クロアチアのビジネス環境は、昨年の190か国中43位から51位に低下。

● 31日、チョリツ環境保護・エネルギー相とディオキッチ・スルプスカ共和国（ボスニア・ヘルツェゴビナ（BH）のセルビア系エンティティ）産業・エネルギー・鉱業相は、ボサンスキ・ブロード製油所への天然ガス供給プロジェクトの実施協力に関する協定に署名。

主要経済指標

（2017年月次データ，政府統計局発表）

輸出総額(8月)	輸入総額(8月)	貿易赤字(8月)	工業生産高(9月) 対前年同月比	インフレ率(9月) 対前年同月比	失業率(登録制)(9月)
667 億クーナ 90 億ユーロ (+14.7%)	1,077 億クーナ 145 億ユーロ (+11.6%)	410 億クーナ 55 億ユーロ (+6.8%)	+3.0% (8月: +3.2%)	+1.4% (8月: +1.0%)	10.8% (8月: 10.9%)

※輸出総額，輸入総額，貿易赤字の括弧内の数字は，対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道，発表をとりまとめたものですので，記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく，特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。